

# シルバー 安全だより

第21号

平成13年8月1日

(社)日向市シルバー人材センター

安全管理委員会

～～安全就業は「意識の自覚と高揚」にあり～～

毎年七月は安全就業推進月間です。

去る平成13年7月4日安全管理講習会をシルバーワークプラザにて実施いたしましたところ、ご多忙の中、多数の方が参加頂きました。鶴田君子さんから「私の安全就業」、藤田辰巳さんから「安全パトロールから見た安全就業」についてお話しを頂き、参加者の方々それぞれの角度より、安全就業のあり方、心構え等再確認して頂いたと思います。私も去る6月13日(水)宮崎ホテルプラザで第1回安全就業対策会議に出席し、事例体験発表をいたしました。県内各センターとの情報交換会で当日向市シルバー人材センターに対する各支部の注目度の高さに内心意を強くすると共に、更なる努力と研鑽が必要であると感じました。会員さんは毎年一つひとつ年を重ねますが、仕事は同じ仕事が回ってきます。この体力の差を如何に克服するかは各会員の方々の「意識の自覚と高揚」が大切だと思います。梅雨も明け、暑い夏がやってきます。会員の皆さんの御健闘と御精進を祈念いたし事故ゼロを目指しましょう。



安全管理委員長  
井上 繁

## 安全管理講習会(7月4日)に実施

安全就業強化月間にあたって

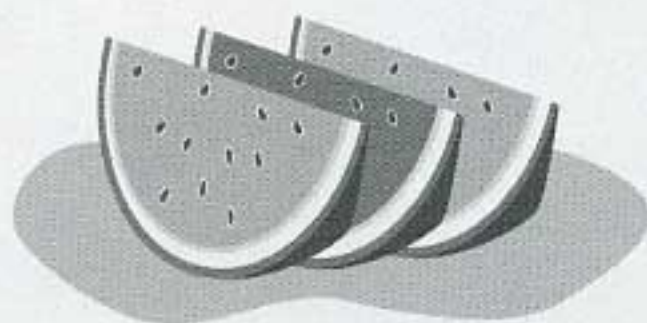
この程、県内シルバー人材センターの事故発生状況の分析結果について県労働局より発表されました。

それによりますと、会員数・事業規模の拡大に伴い、シルバー人材センター会員の就業中の障害及び途上の交通事故が増加の傾向にあり、安全就業の着実な成果を期すため更に努力してほしいとの講話がありました。

事故の分析結果によりますと、「途上の交通事故」・「仕事始め・休憩の前・仕事の終わり前」に集中して発生しており、あとわずかでとの気のゆるみが原因となっているようです。

よく耳にする言葉ですが、「あとわずかだから」これは、要因には気がついたが、もうすぐこの仕事が終わるので、このまま仕事を続けようという考え方です。しかし、要因と就業時間との間には何の関係もありません。災害は要因をそのままにしておけば、たとえ、一秒あるいはその数分の一という短い時間であっても、災害は起こると考えなければなりません。よく仕事が終わる直前に大きな事故が起こるケースがありますが、それはたいてい「あとわずかだから」といって要因を放置していたことによるものです。

今日までの無災害に感謝して、ただちに要因の排除を図ることが必要です



安全標語川柳追加募集中9/7まで



# 安全パトロール6/21 **春季** 7/13 **夏季** 実施する

## 春季パトロール箇所

- ①財光寺（家庭）……………剪定作業
- ②曾根（家庭）……………剪定作業
- ③日向岬グリーンパーク……………管理作業
- ④日本通運（株）……………検品作業
- ⑤日向市文化交流センター……………清掃作業
- ⑥市宮新財市南住宅……………草刈作業
- ⑦本山定善寺……………片付作業
- ⑧川路河川堤……………草刈・剪定作業

## 夏季パトロール箇所

- ①御鉾ヶ浦公園……………草刈作業
- ②御鉾ヶ浦線……………草刈作業
- ③平場1号線……………草刈作業
- ④塩田（個人宅）……………剪定作業
- ⑤市宮上納内住宅……………剪定作業
- ⑥花ヶ丘（個人宅）……………剪定作業
- ⑦花ヶ丘（個人宅）……………剪定作業
- ⑧中原（旧和田病院）……………剪定作業
- ⑨本山定善寺……………草刈・除草作業

パトロールに出かけた日は雨上がりの蒸暑い日でした。草刈は道路脇での作業が多く危険を伴いますのでポールを多めに置いて車の往来に十分気をつける必要があります。保護メガネを着用すること、使用しない道具を整頓して次の作業にとりかかること、腰に鎌をさしているのが気になりました。（目印として柄に色テープを貼るか、又は刃にカバーをして使用する。）近くに車がある場合には防護シートを使用するなどして物損事故をなくしましょう。木の小枝を腰にさして背中  
の暑さを防ぐのは良い考えだと思いました。生活の知恵ですね。高所の剪定においては、ヘルメットをしっかりと着用して、安全帯、脚立の設置等もよかったですと思いました。休憩時間は木陰で休み、健康に気をつけ事故のないようがんばりましょう。

柳田悦子委員



## 平成13年度安全就業推進大会（7月17日）宮崎市で開催

平成13年度安全就業推進大会が7月17日宮崎J AビルA Z M大ホールで開催されました。日向市シルバー人材センターから河野稔副理事長ほか会員20名が参加しました。県内各センター会員さんなど約500名参加でありました。今年度の安全就業全国統一スローガンは「安全でさらに広がるシルバーの輪」でありました。会長、知事代理、労働局長代理の挨拶後、安全標語1,247点の中から最優秀賞に国富町シルバー人材センターの「シルバーは 一に集中 二にゆとり 三で笑顔の安全就業」が選ばれました。優秀賞に延岡市、新富町、山田町、日南市、各センターの入賞標語の発表及び表彰がありました。

事例体験発表に入り、都城センターより昨年、剪定作業中、3メートルほどの高さから庭石に転落した死亡事故について報告がありました。

樹上での作業でありながら、命綱やヘルメットを着用しない不安定な作業での転落重大事故です。安全就業基準を遵守していれば死に至らなかったケースだと思います。今後の課題として安全保護具着用の徹底や会員一人ひとりの安全意識をどう高めていくかが重大であるとのことでした。

更に、新富センターから、一昨年自転車を利用して帰宅中、押しボタン式信号機のある交差点での交通事故の説明がありました。最近就業途上の交通事故が多いようです。交差点で信号に従って横断中でも安全確認をしながらゆとりをもち、横断に心がけて下さい。他に、日南、延岡、宮崎センターより安全就業活動等について発表がありました。安全就業とは、作業中ばかりでなく、一歩家を出た時から無事家に帰り着くまで常に実行されることです。

そして、宮崎社会保険センター講師、健康運動指導士竹井佐輝子さんの「いきいきシルバー健康づくり」について講演が行われました。体力・気持年齢のチェック及び指・首・肩回し、体操（ストレッチ体操）の実技や夏バテ解消のための食品説明がありました。皆さん図解説明を事務局に提示して置きます。参考にして健康の維持管理に努めましょう。

顧みるに安全就業の基本は会員皆さん一人ひとりの気持ち如何ではないかと思います。

どうぞ十分健康に留意され、安全に笑顔で就業し頑張ってください。藤田辰巳副委員長

